

# ヒグマ対策の手引き

(令和6年4月16日 改訂版)

ヒグマは日本最大の陸棲哺乳類で、日本では北海道だけに生息しており、北海道の自然の豊かさを象徴する生物です。しかし、約150年前の開拓以来、農作物や家畜だけでなく、時には人間にも危害を与えることがある動物であることから、付き合い方が難しい存在でもあります。

ヒグマは古くから狩猟の対象であり、被害対策として駆除も行われてきましたが、昭和30年代からは、特に家畜への被害が大きくなったこともあり、個体数を積極的に減らすために捕獲を推奨する政策がとられました。その結果、生息数は減少傾向が進むとともに生息環境の改変などもあり、生息域は分断と縮小が進み、地域によっては絶滅が懸念される状況にまでなりました。こうしたことから、北海道では平成2年にいわゆる「春グマ駆除」を廃止し、保護に重点をおいた政策を実施してきました。

しかし、生息数が減少していた期間を含め、ヒグマによる農業等への被害はほぼ一貫して増加傾向にあるほか、少なからず人身事故も発生しており、ヒグマと人間との間の緊張感が高まり続けたことから、道では、平成14年度末に、住民の皆様の前線で対応に当たっている主に市町村の担当者向けに「ヒグマ対策の手引き」を作成し、活用いただいたところ です。

その後、北海道では鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律に基づく「北海道ヒグマ管理計画」を策定し、人とヒグマとのあつれきの低減を目指すとともに、地域によっては絶滅のおそれのある地域個体群の存続を図るための取組を進めてきましたが、ヒグマの推定個体数が増加するとともに分布が拡大し、令和3年度には札幌市東区にヒグマが出没し4名の方が負傷をされたほか、各地でヒグマが住宅地など人の生活圏域に出没する事例が頻発するなど、人とのあつれきが高まっています。こうした状況を踏まえ、令和4年4月からは「北海道ヒグマ管理計画」(第2期)が開始されたことから、「手引き」を現在の状況に対応したものに改訂することといたしました。

本書を活用していただき、ヒグマを人里に出没させない、出没しても迅速かつ適切に対応できる体制を整え、地域におけるヒグマ対策が推進され、本道の自然生態系の象徴であるヒグマと人があつれきを感じることなく共存できる状況になることを期待しております。

令和6年(2024年)4月

北海道環境生活部自然環境局野生動物対策課ヒグマ対策室

# ヒグマ対策の手引き

## 【目次】

### はじめに

- 1 ヒグマ対策の変遷・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2 現在のヒグマ対策の方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
  - (1) 北海道ヒグマ管理計画
  - (2) ヒグマに関する各種方針について
- 3 これからの方向性・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- 4 「ヒグマ対策の手引き」について・・・・・・・・・・・・・・ 4

### 第1 ヒグマとは

- 1 ヒグマとは・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- 2 北海道のヒグマの特徴・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- 3 ヒグマの生活史・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
  - (1) 春
  - (2) 夏
  - (3) 秋
  - (4) 冬
- 4 ヒグマの痕跡・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
  - (1) 足跡
  - (2) フン
  - (3) 食痕
  - (4) 爪痕
- 5 学習能力と人慣れ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

### 第2 ヒグマ対策の基本的な考え方

- 1 概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
- 2 あつれきの予防・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
  - (1) 情報収集
  - (2) 普及啓発
  - (3) 被害対策
  - (4) 体制の整備
  - (5) 調査研究
- 3 出没への備え・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
- 4 捕獲・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
  - (1) 鳥獣捕獲許可による捕獲
  - (2) 狩猟による捕獲
  - (3) 捕獲時の注意事項
  - (4) 捕獲後の対応

第3	出没場所別の対策の目的、手法及び効果	
1	共通の対策	26
	(1) 情報収集	
	(2) 普及啓発	
	(3) 注意喚起	
	(4) 誘引物の管理	
2	農耕地での対策	42
	(1) 被害状況の把握	
	(2) 刈払い	
	(3) 電気柵の設置	
	(4) 追い払い	
	(5) 廃棄野菜等の適切な処分	
3	市街地での対策	46
	(1) 目撃情報の収集	
	(2) 進入経路の分析	
	(3) 刈払い	
	(4) 放置果樹等の伐採	
	(5) 電気柵の設置	
	(6) 生ゴミの管理	
	(7) 追い払い	
4	森林地帯での対策	49
	(1) 目撃情報の収集	
	(2) 活動時間、人数	
	(3) 鈴等の携帯	
	(4) その他	
5	野外施設での対策	50
第4	具体的な対策の考え方	
1	農耕地での対策	52
2	市街地周辺での対策	54
3	森林地帯での対策	57
4	先進的な取組事例	57
	参考資料	59